

新型コロナウイルスからの行動変容



イーストホームタウン沖縄株式会社
代表 相澤 和人

新型コロナウイルスによる行動変容（相澤）

時期	情勢	私の行動変容
2019年11月下旬から12月初旬に人から人へ感染	発祥地：中国武漢市華南海鮮市場 ウィルスの起源はセンザンコウとコウモリにあるウィルスが組み合わさってできたウィルスが人へ感染したという説	情報なし。無関心の状態
2019年12月31日に報道される。それ以降報道されるようになる	1月11日中国武漢で41人が感染1名死亡 WHOに関する記事は1月8日から1月23日からより活発化、報道される。1月21日、日本感染1人、25日には中国1000人感染者超える。2月初旬中国武漢地区閉鎖	2020年が始まり、決意表明、習字で「増」「中庸」「八正道」「物語」「心増愉浮」（4名の造語）を書く。1月は ダイアナ の福岡出張等もあり、未来創造を前向きに捉えている。新型コロナウイルスはまだ、 他人事 。
2020年2月からクルーズ船からの感染から広がる。	ダイヤモンドプリンセスは1月25日横浜港を出発し、鹿児島、香港、ベトナム、台湾、および沖縄に立ち寄り、2月3日に横浜港に帰港、1月25日に香港の感染者がクルーズ船で来日したことから始まり、隔離が始まる。2月3日感染10人その後増え続け、2週間隔離した後、19日に下船が始まる。報道が過熱、政府の対応、世界からの批判が殺到。隔離施設にホテル三日月が協力した。中国は2月1日10000人、4日に20000人の感染者が倍増する。ここから一気に広がり沖縄感染3名。	2月2日三幸学園の生徒と一緒に作ったイベントが成功、ヘルスツーリズム論の授業も無事終了。 手応えがあったが 、世間の不安が広がる中、自分自身の仕事の不安も少しづつ、襲ってくる、旅行したいお客様の相談も始まり、「大丈夫だと思いますが100%感染しないとも言えないですね」と曖昧な回答。自分自身の仕事も4月にツアーが4本あり、メンタル的に取消が怖く、2019年度の黒字予定が赤字となる恐れがある。2件の団体は延期。 宿泊施設マーニじゃらん登録
中国及びアジアが感染広がる 3月2日に日本の学校が休校。一気に自粛ムードが加速する。	2月末に北海道が法的のない「緊急事態宣言」を出す。原因はさっぽろ雪まつりが推測される。韓国でも3月初旬、集団感染があり、世界では日本を含むアジアが差別的扱いをされる。渡航禁止等も発令する。学校も3月2日から休校によりパニックが起こる。給食に関わる企業や卒業式自粛や中止など、業者によっては不況が始まる。観光業は停止となりつつあるため、経済が不安により、融資や給付金など議会で議論、また、オリンピックの延期、中止も騒がれる。	2月末、コンソーシアムでいつも受注している南城市のプロポーザルの仕事が受注できず、新型コロナウイルスの状況など 不安が倍増 する。しかし 苦手 であった ホームページのブログ書き込みやFacebookなどの発信や広告を徐々に始める 。やれることから始める。 融資や給付金の情報収集 。沖宮の 巡礼の旅 プロジェクトのメンバーになり、県の事業にもエントリーする。企業研修登録やカウンセリングなど委託契約のための求人ボックス登録もする。
3月12日にWHOパンデミックが発令	12日にはイタリア感染者12万人、中国8万人、死者3000人イランも1万人、世界中に感染が広がる。19日にはアメリカの感染者1万人を超え、世界ではロックダウンが遂行される。緊急事態宣言は9日に法改正、しかしこの時点で発令するに至らない。学校も再開する市町村も出始め、オーバーシュートの可能性は抑えている認識、しかし3月の三連休の油断で東京の感染者数が増加傾向、24日にオリンピック延期決定、その後、東京都が外出自粛を呼びかける。	メンタル提案のため、産業カウンセラー協会の連携をとりたいため訪問。出来ることの中での1つ クライアントの人生の物語を作るため 、原点である北欧神話や世界の神話の本などを読む。3月10日、今年度最後のお客様になった。3月23日に沖縄の4名の感染が確認され、沖縄への危機感も始まる。その後、25日60名取消、26日10名取消、4月のツアーすべて取消になった。県の事業も受注できなかった。 不安ではなく明るむ心境。ハレクラニリトリート企画提案中
4月5日に緊急事態宣言を発表する予定7日に発令	東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡が対象、外出自粛、仕事はテレワーク、業種による営業停止要請、7、8割の人との接触（密閉・密集・密接）を避ける。オーバーシュートを避けるため。期間1か月、沖縄も感染者増加	4月になり、6次産業とメンタル療法や企業研修などのために 畑仕事を始める 。観光業とこれからどう向き合うか決断する。刑務所の企画書なども作り始める。 会社の経費削減のため、縮小していく。

平和の危機、新しいフェーズの世界観

辞書の上では「平和」とは戦争、論争がない状態のことである。現代の日本は生死を伴う戦争、論争がありません。一方で現代社会はストレス社会であったり、最近では**不寛容社会**と言われたりする。

それはなぜでしょうか？結論から言えば、**平和の中にいると、平和を感じにくくなる**。生存欲求に危機をないと、欲求が欲望にシフトし、自分の幸せに満足せず、幸せになりたいという欲望と嫉妬が加速し、人との格差やズレが生じ、メンタルダウンになるきっかけとなる。

しかし、地震等の自然災害のような急速な危機感とは異なる**じわじわくる感染症の恐怖、見えない敵との戦いの新型コロナウイルスという感染症戦争と向き合うこととなる**。

戦後の貧困で何もない時代とは異なり、経済や産業から成り立っている社会からの絶望感、テレビやインターネットを観れば裕福を感じる一方、例えば会社の倒産危機を感じる中小企業の社長の心境、**負のスパイラル（なぜ私が）が加速し**、今までに味わったことのない社会が存在する。更に、**ITが加速し**、AIが人間を支配する時代もくるかもしれない。アニメの世界、まるで銀河鉄道999のように。

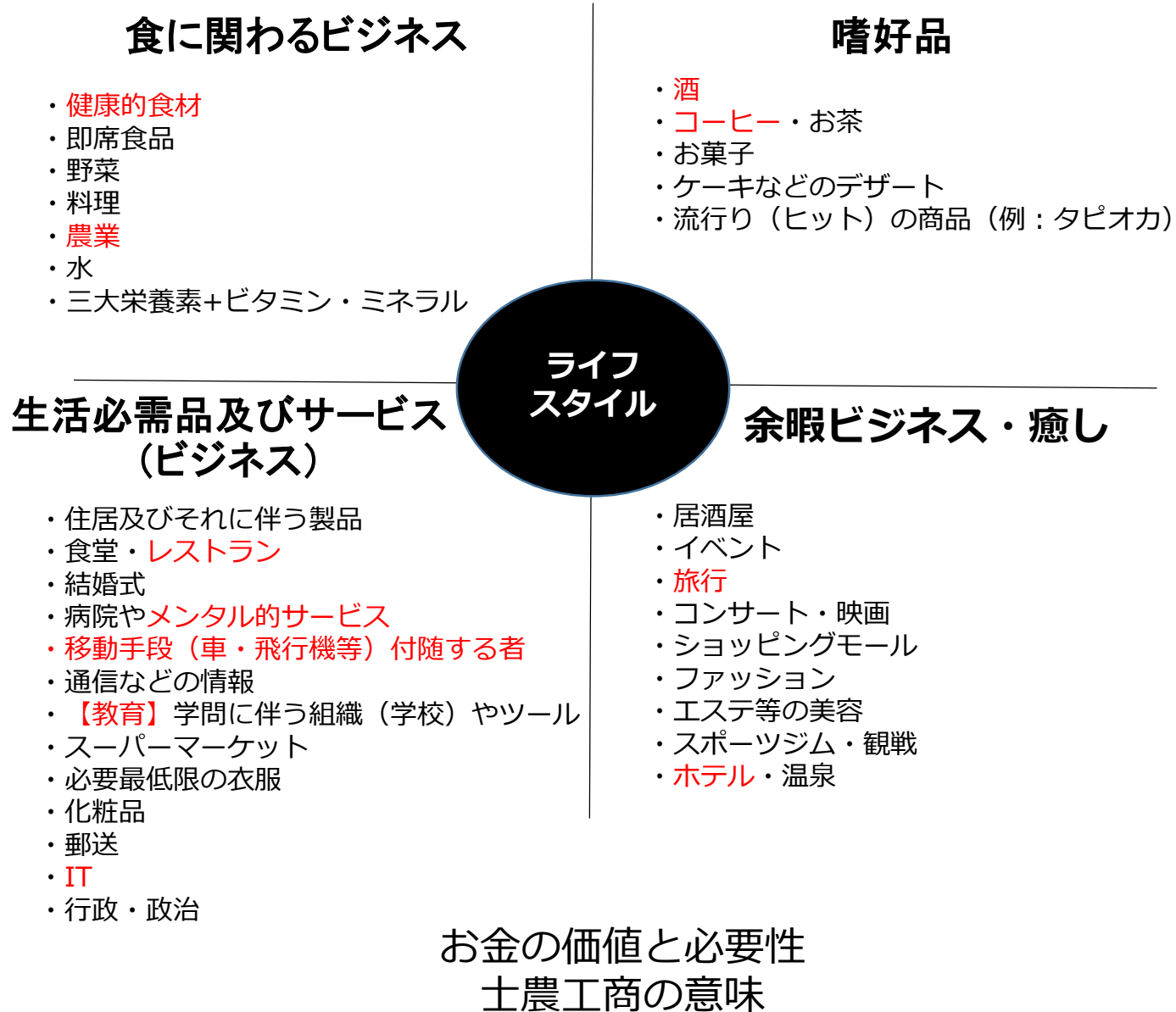
生きるためのライフスタイル（衣食住）に準ずる生活とITが溢れるテクノロジーの2極化の時代が到来することとなるでしょう。

そこであなたができること。あなたの役割を考えるいい機会かもしれません。

思考変容、行動変容に必要なキーワード

- ①ライフスタイル（衣食住）に必要なもの
- ②なくならない職業
- ③嗜好品や余暇レジャー産業とのバランス
- ④自分ができること
- ⑤断捨離するもの
- ⑥AIやIOTのスキル

ライフスタイルでの必要なサービス及びビジネス



自分と帰属の役割

自分ができること

- ・メンタルトレーナースキル向上
- ・ストーリーテラーへのスキルアップ
- ・農業のスキル
- ・更なるスキルアップのための知識向上
- ・家族サービス
- ・経費削減

不安に思うこと

- ・家族の財政
- ・会社の見通し
- ・自分のスキルが必要とされるか
- ・子供のメンタルの持続化（多少）
- ・世界情勢・日本情勢の不安

新型コロナ ウィルス

会社(帰属)ができること

- ・資金調達
- ・収束した時のビジネスビジョン
- ・6次産業とメンタルの統合
- ・相澤ワールドの確立
- ・経費削減
- ・本社移転
- ・終息した時の営業と提案書の準備
- ・メンタルサポート

会社(帰属)が不安に思うこと

- ・宿泊施設の見通し
- ・世界情勢と日本情勢、沖縄のビジネスモデル
- ・今後のビジネスビジョンと資金のバランス
- ・人材不足
- ・相澤ワールドの必要性
- ・本社移転の場所

行動したこと、今後の見通し

行動したこと

- ・ 畑仕事
- ・ 企画書を作成
- ・ ホームページ作業とSNS投稿
- ・ 資金調達
- ・ 南城市の事業へのアプローチ
- ・ 給付金申請
- ・ 移転の準備
- ・ ストリートテラーの道の勉強
- ・ セルフモニタリング構築

自粛したこと

- ・ 経費削減（本社移転・民泊解約）
- ・ 携帯電話の見直し
- ・ 接待等・会合の自粛
- ・ 会社より家で勤務
- ・ 営業活動
- ・ 荷物整理

新型コロナ ウィルス 後

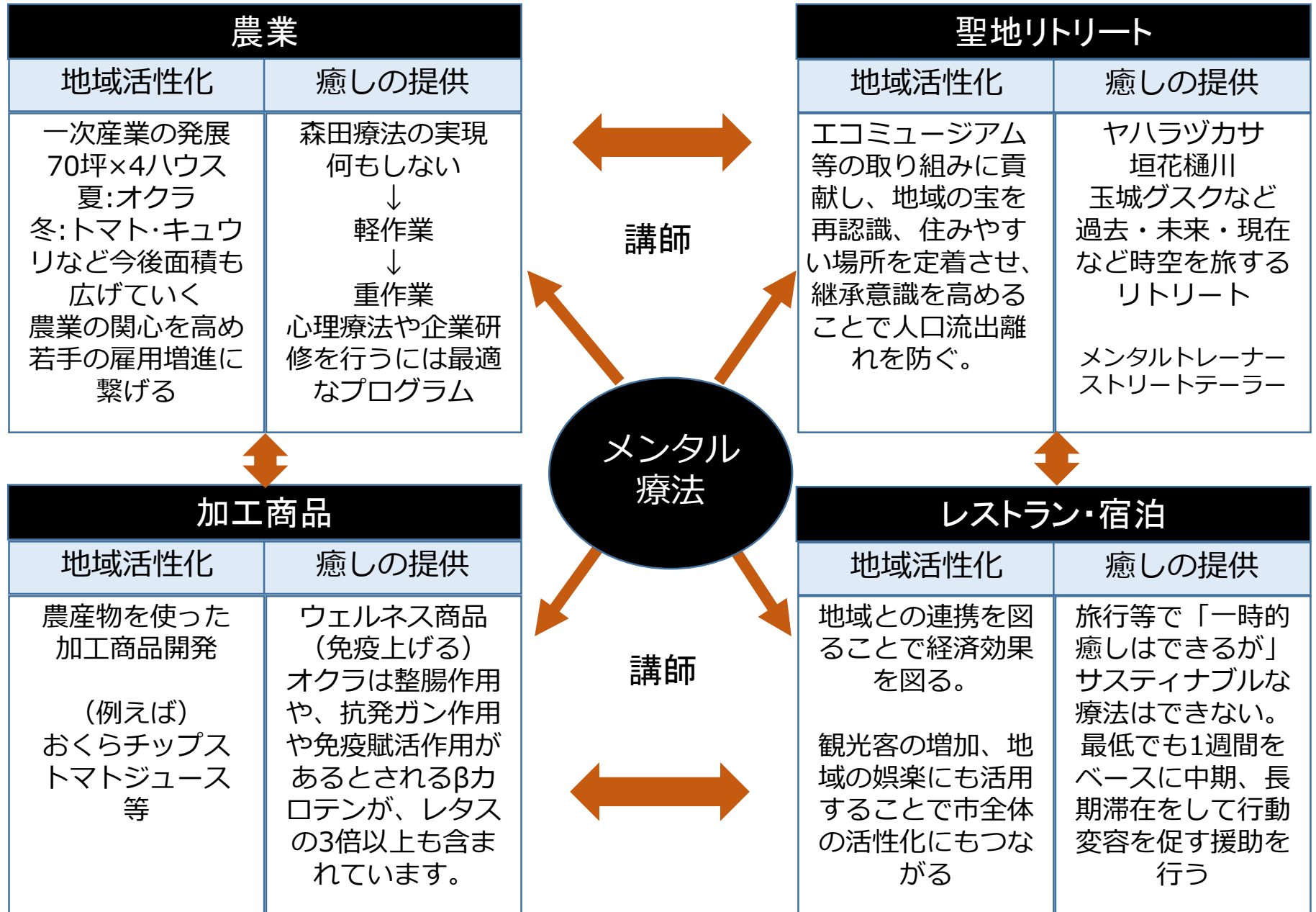
終息後の営業活動

- ・ 6次産業とメンタル療法ビジネス
- ・ ダイアナアプローチ
- ・ 県外営業
- ・ 延期になったツアーの営業
- ・ 南城市の事業のアプローチ
- ・ 人材雇用（財政による）
- ・ 県内企業研修の営業
- ・ 南城市行政の県外視察営業
- ・ ハレクラニ商品販売
- ・ HP・SNS販促

終息後の断捨離

- ・ 本社機能と自宅併用
- ・ 光熱費削減
- ・ 旅行部門委託へ（財政による）

新型コロナウイルス終息後のビジネスモデル 【イーストホームタウン沖縄のミッション】





あなたもこの機会に試してみてください
きっと思考変容が起きるでしょう。そして行動変容を！